

## New Year's resolution

新任教授に大学の最近の様子を紹介するために、趣味や出身について書くように原稿依頼をいただきました。歯学部同窓会員ですので、名前を聞いたことがある先生は少なからずいらっしゃると思います。生体組織再生工学分野（旧歯科理工学、生体材料学）に、2013年6月に異動してまいりました、歯学科18期生の泉健次と申します。

さて、みなさんは今年のNew Year's resolutionを何にされましたか？私の性分の一つとして、普通の人よりはモノが捨てられない！ということがあると思っています。頻繁には行いませんが、整理整頓自体は嫌いではないので、独居老人になったら自宅がゴミ屋敷と化して行政処分が執行される、と、将来的に至るとは思いませんが、どうもモノが少なくて整然としている環境は気分的に落ち着きません。その証拠に、幸い仕事に支障は出ておりませんが、教授室は狭いにもかかわらず、雑然としていて物置のようです。自宅でも自分の居場所の周囲だけ散らかる傾向が強く、家内からいつも煙たがられています。

新年明けてから家内からの風当たりが強くなってきたので、まだNew Year's resolutionを設定していなかった私は、断捨離<sup>注1)</sup>を実行しようか？というアイデアが浮かんでいました。そんな折、2016年1月6日にこの原稿依頼が舞い込んできました。翌日私は、本学とインドネシア大学の共催で行われるInternational Symposiumに参加するためにインドネシアのLombok島に向いましたが、搭乗した飛行機の機内誌に、そんな気持ちを決定的にする記事と遭遇しました。それはアメリカで、Konmari（近藤麻理恵）さんの翻訳本がベストセラーになったという記事でした<sup>注2)</sup>。

ということで、早速Symposiumから帰国後、不要な私物を捨てる作業に入ったわけです。自宅に私物はほとんどありませんが、手始めに、電話台下のスチール製の引き出しから手をつけました。1段目にはレシートが詰まっていた。全部捨てです。2段目には、未使用のペンテルの鉛筆、分度器、三角定規など。一応そのままに。3段目には、未使用の絵葉書と買い置きの香典袋。その下に、岩倉具視の五百円札といっしょに白黒の写真が出てきました。さだまさしの写真か？私はサザンのファンであって、さだまさしのファンであったことはないが。名前欄がありませんが、それはなんと、歯学部2次試験の私の受験票でした。つまり、30年以上前の己の写真でした（図1）。

今の私と比べてどうなのでしょう？自分でコメントすることはありませんが、学生時代のニックネームは“シゲ”だったということです。故泉重千代<sup>注3)</sup>さんから来たシゲです。故泉さんに似ていたからではなく、当時の私が老けヅラだったせいですね。一方、いつ頃からでしょうか、当時と逆の現象が起きていて、「(実年齢より)若く見えますね」と言われることが時々あります。悪い気はしません、人は本当に若い人に対して「若く見えますね」とは決して言わないので、まあ、おっさんであることは間違いないです。逆転現象が起こってしまったのは、苦勞して歳をとってこなかったから、と自己分析していますが、学生さんと日常的に接する機会が多い、というのものもあるのかなあとも思っています。

話は逸れますが、日本人は見た目と年齢のギャップに大きな関心を抱くことが多いように思います。昔“笑っていいとも！”でも、そんなスポットがありました。これは年齢を気にする文化が根付いているからだからでしょう。ニュースに出る人の名前の後やインタビューを受けた人に、たいてい（年齢）が併記されます。最近“Kawaii”が世界共通語になりつつありますが、アメリカ（が、すべてよいとは全く思っていません）と比べ、日本はお子様文化であると思います。成熟していないものが世を席卷しています。一方、アメリカは大人になりたい願望が強い国で、若い＝素晴らしい が日本なら 若い＝未熟 がアメリカでしょう。また、アメリカでは年齢と身分情報の相関性が薄く、年齢から得られる情報が少ないので、自ずと年齢を聞く必要性がないわけですが、逆に、日本では「年齢がわかれば、相手のことがだいたいわかる」社会構造（賃金形態）であることから、年齢を気にする傾向にあるのだと思います。従って、相手との価値観の違いは「世代間によるギャップ」として、片付けられることが多いのでしょね。

Did your old ticket spark joy? Yes, it did. 30年以上、香典袋の下で生き延びてきた受験票ですから。おっと、今日は2月29日です。（この時期は毎年、大学院生の学位論文の作成と審査、試験監督などが主な行事です）今年はまだあと10ヶ月ありますが、スチール製引き出しの断捨離は前途多難です。

注1) やましたひでこ さんの登録商標

注2) わが国で2011年にミリオンセラーとなった『人生がときめく片づけの魔法』のこと。アメリカ人は Does this spark joy? (“ときめき”を感じるか?) と自問するらしい。記事では、この本はいわゆる How to 本ではなく、人生哲学そのものである、という点がアメリカ人の琴線に触れたと解説されていました。

注3) 1995年までギネスブック公認の人類の世界最長寿とされていた人物。

